

大音量の拡声器 「今後使わない」

防衛局長瑞慶覧氏に

瑞慶覧長敏衆院議員は30日、沖縄防衛局に真部朗局長を訪ね、東村高江へのヘリコプター着陸帯の移設工事で局側が拡声器を使って住民に移動を呼び掛けたことに遺憾の意を示した。

瑞慶覧氏は「非暴力の座り込みを続けている住民に(大音量の呼び掛けで)苦痛を与えた行為だ」と厳しく指摘した。

瑞慶覧氏によると真部朗局長は「拡声器7台を使用したか、音量は最小にした。今後は使用しないようにする」と釈明。「移設工事の強行も考えていない」と述べ、住民らに理解を求める考えを示したという。